



園だより



黒石太陽保育園
令和8年2月2日

冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、子どもたちは元気いっぱいに駆け回っています。年末までは、暖かい日が続いておりましたが、新年を迎えてからは、冬本番の寒さを感じる毎日が続いており、先日は開園以来初の冬景色となりました。

幼児クラスでは、予想最低気温が氷点下となっていた前日、タッパーに水を張り戸外に並べ、氷作りの実験を実施。残念ながらすぐに溶けてしまいましたが、表面にうっすらとできた氷を観察することができました。また、吸水性ポリマー（紙おむつなどに入っている白い綿）に水を加えて人工雪作りも体験しました。

室内ではコマ回し、園庭では縄跳びの練習に励む姿も見られます。寒さが厳しく、なかなか散歩に出かけられない日が続きますが、冬ならではの遊びを楽しみながら、今月も元気に過ごしていきたいと思います。

<2月・3月の予定> ※都合により変更することがあります。

日にち	2月	日にち	3月
3日（火）	節分会	2日（月）	体操教室（幼児クラスのみ）
9日（月）	体操教室（幼児クラスのみ）	3日（火）	ひなまつり会
12日（木）	英語教室（幼児クラスのみ）	7日（土）	入園説明会
18日（水）	保育まつり（そら組のみ）	10日（火）	英語教室（幼児クラスのみ）
21日（土）	ぽかぽか （未就園児対象子育てひろば）	24日（火）	内科健診
25日（水）	避難訓練	26日（木）	避難訓練
28日（土）	保育参観・クラス懇談会	28日（土）	卒園式
	※ 保育参観・クラス懇談会の詳細につきましては、先日お渡しいたしましたおたよりにてご確認ください。 尚、後日参加の有無につきましてはのアンケートを配布いたしますので、ご回答ください。	 4月 4日（土）	※ 内科健診当日に欠席されますと、各自で園医のクリニックへ行っていただき、健診を受けていただきますこととなりますのでご了承下さい。  入園式

「コドモン」アプリ登録のおねがい

本園におきまして、保育・教育施設向けICTサービス「コドモン」を導入する運びとなりました。つきましては、先日お渡しいたしました資料をご一読いただき、アプリのダウンロードと登録等、利用開始に必要なお手続きを行なってくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

●今後の予定

2月16日～開始する機能

①登園降園履歴の確認

→ 登降園時、QRコードの読み取りにより登降園の時刻の記録を開始します。送迎時には、スマートフォンをご持参ください。

②保護者連絡

→ 欠席・遅刻・お迎えの連絡がアプリから可能です。毎朝、お迎え予定時刻・予定者の入力をお願いいたします。尚、欠席・遅刻の連絡は朝9時までにご入力ください。

③お知らせ受信

→ 緊急連絡等、園からのお知らせを配信いたします。

※資料室・アンケート回答・カレンダーの機能は来年度から開始いたします。

●各クラスから

うみ組

一年で最も寒さの厳しい季節となりましたが、うみ組の子どもたちは、にこにこ春の太陽のような笑顔で毎日元気に過ごしています。

開園後、初雪となった日、園庭にもうっすらと雪が積もりました。うみ組の子どもたちにとっては、おそらく初めて見る雪を「なんだろう…？」と興味深げな様子で眺めていました。たらいに集めた雪を入れてみると、そっと触れてみる子どもたち。冷たい感触に驚きながらも初めての雪に親しむ様子が見られました。

1月中旬から、全員幼児食（1、2歳児用）に移行しました。ワンプレートタイプの食器に盛り付けられた給食の中から好きなものを見つけると、自ら進んでスプーンやフォークを使って口へ運び、パクパクとおいしそうに食べています。これからも、それぞれのペースに合わせながら、無理なく楽しく食事ができるよう、言葉掛けなど工夫しながら見守っていききたいと思います。

はな組

寒さが一段と厳しくなりましたが、はな組の子どもたちは毎日元気いっぱい過ごしています。

1月は、お正月遊びとして凧揚げを行ないました。白いビニール袋の取っ手に紐をつけ凧を作り、それを手に持ち、保育者と一緒に走ると…。空に舞い上がる様子を楽しみながら、全力で園庭を駆け回る子どもたちでした。

最近は、友だちと一緒にかくれんぼや追いかけっこを行ったり、時には、友だち同士でゆっくりとおしゃべりを楽しんだりする姿が見られます。室内でも、友だちと一緒におもまごを楽しむ姿がよく見られ、食材の玩具を皿に盛り付け、「いただきます！」と声を掛け合いながら食べる真似をして楽しんでいます。一人遊びから、友だちと一緒に楽しむ遊びへと、遊びの内容も変化しているこの頃です。

今月も、季節ならではの遊びを楽しみながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じていけるよう、過ごしていきたいと思います。

かぜ組・にじ組・そら組

先月は厳しい寒さが続きましたが、幼児クラスでは縄跳びを好んで行う姿が多く見られ、保育者に大縄を回してもらい跳ぶ大縄跳び、自分で縄を回して跳ぶ一人跳びと、どちらも数を数えながら、熱心に練習していました。初めて跳べた時や目標としている数を達成した時には、笑顔がはじけ、達成感を感じているようでした。また、使った縄の片づけでは、年長組が縄を結ぶ姿を見て年中組が真似をして次第に結べるようになり、子どもたち同士の育ち合いを感じました。

子どもたちは、それぞれに進学や進級を意識し始め、「お兄さん、お姉さんになること」への期待をもちながら、様々なことを自分で行おうとする姿が見られます。ご家庭におかれましても、子どもたちの「自分でやってみよう」とする姿を応援しながら見守っていただけたらと思います。

みどり組

先日は雪が舞い、風が冷たく寒さが厳しい毎日が続いていますが、子どもたちは、着ていた上着を脱いでしまうほど、身体をよく動かして元気に遊んでいます。

戸外では、鬼ごっこやかくれんぼ、室内では絵合わせカードゲームなど、最近は簡単なルールのある遊びや集団遊びをよく行うようになりました。まだまだルール通りにはいかない場面もありますが、そんな時は保育者がフォローしながら遊びを進めています。

1月中旬から、幼児クラス進級に向けた取り組みとして、上靴を履き始めました。初日はお互いに上靴を見せ合いっこして嬉しそうにしていた子どもたち。初めは、履くことに時間を要していましたが、かかとに手を添えて足を入れることにも少しずつ慣れてきました。幼児クラスのお兄さんお姉さんの様子を見て覚えていたのか、説明しなくても、マット上に上がる時は上靴を脱ぎ、履く所と脱ぐ所の区別を自然としており驚きました。

今月からはコップを使ってのうがいの練習も始まります。進級に向けて期待がもてるように見守っていききたいと思います。